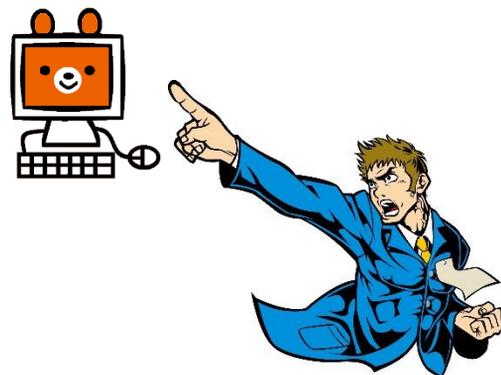


私の卒論体験記

◆ プロフィール

学部 : とある大学 (卒論執筆)
修士1年 : 熊大 (修論&卒論補助)
修士2年 : 熊大 (修論執筆)
博士1年 : 熊大 (修論&卒論補助予定)



◆ どうやって卒論テーマを決めるの？

私の現在の研究室では研究室配属後、修士学生がそれぞれ自身の研究をプレゼンし、それを参考に学部生はテーマを選定してもらっています。(その際、まだ自分が何をしたいかわからないという人ももちろんいますが(全然問題ない) その場合は先輩の人柄などで選定する人もいます)

◆ テーマ決定後のスケジュール

4月	研究室配属 研究テーマ決定
5月	日本語雑誌会※1
6月	実験本格始動※2
7月	院試
9月	学会※3
12月	データ総まとめ
1月	卒論執筆※4
2月	卒論提出 卒論発表

※1 研究室内で行うイベント。ここでは日本語論文を読み、それ内容に関して原稿作成およびプレゼン発表を行うというもの。実施の意図としては

⇒ 専門知識の蓄積 (研究者が恒久的に行う作業)
⇒ 論文らしい文語表現の学習 (卒論に役に立つ)
⇒ 論文内容を聴衆に伝える (研究背景・目的・結果・考察・結論などの研究発表の流れを知る)

※2 実験自体は基本的に週に2回程度。それ以外の日は解析・考察などに時間を当てる。もちろん遊んでもよい (なお、結果を出す能力に非常に長けている人のみ。ちなみに私は残念ながらその能力は毛頭ない...辛)

※3 恐らく学部生はここが初めての学会参加となるでしょう。私もそうだったんですけど、例年、後輩たちは緊張して望む人が多いですが、学会後は驚く程、成長を遂げて帰ってきます。なので機会があれば参加をお勧めします。

※4 さあ、この時期になってしまいました。とくに効率が悪く私は何度も徹夜をした思い出があります。そうならないためには?? ⇒ tipsへ

~tips~

・計画性 (短期・中期・長期と目標を立てましょう)

・データまとめ (実験ノートやデータをパワポにまとめるなどこまめに行う)

・楽しむ (実験はめっちゃくちゃ失敗ばかり。

故に時間がものすごくかかるので、どうせ時間を費やすのであれば知的欲求のつもりで楽しめたら精神的にもよいのではないかなと思います!!!)